

### 平成16年度 民間防災組織の状況

平成16年5月1日現在の幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び婦人防火クラブの調査結果を見ると、三つのクラブの総数は、34,955団体、クラブ員総数3,936,062人となり、前年度に比べクラブ数で425団体（1.2%）の減、クラブ員では、53,355人（1.33%）の減となっています。

民間防火組織の活動の重要性を考えると、今後更にクラブの拡大と組織の充実を図っていただき、消防本部と防火クラブが一体となって、地域の防火・防災に活躍されることが期待されます。

幼年消防クラブは、前年に比べクラブ数は、80団体（0.54%）減少し、クラブ員数は、6,605人（0.53%）の増加となっており、14,624団体1,251,535人となりました。

火災の原因の中で子供の火遊びによる火災が依然として多く、特にそのほとんどが幼年期を迎えた年少の子供達の火遊びによって発生している現状から、幼年期において、正しい火の取り扱いに対する知識を深め、消防の仕事を理解させることにより、火遊び等による火災の減少を図り、また、幼年期に社会活動、集団活動を体験することによって自主、強調などの社会的態度を養い、将来、災害を防止し、生命財産を保全する能力を持つ大人となり、社会に貢献できる人間に導くという点からも幼年消防クラブの活動は期待されています。

少年消防クラブは、前年に比べクラブ数は、71団体（1.1%）減少し、クラブ員も、13,257人（2.8%）と減少し、5,980団体457,348人となりました。少年消防クラブは活動を通じて、防火・防災について学習し、話し合い、これらについての正しい知識と技能を身につけ生命と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、規律や防火マナー等を身につけ、健全な地域防災の担い手となるように努力しています。

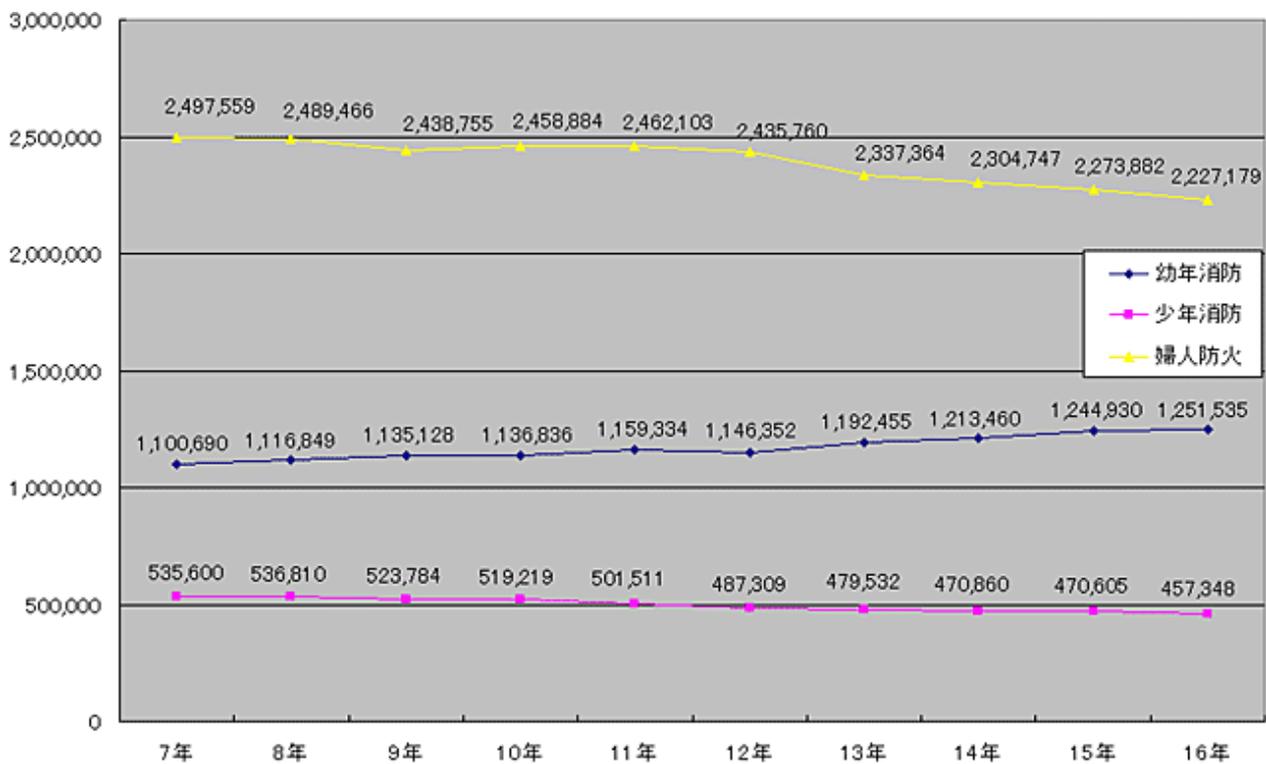
平成5年～8年の間は、クラブ数、クラブ員数ともにほぼ横ばい状態にありましたが、平成9年から減少傾向になっています。

近年の少子化傾向を考えますと、クラブ員の減少はやむを得ない面もありますが、地域と家庭の繋がりが希薄となっていることが指摘されている昨今、地域での社会活動参加等の良い機会でもあり、今後組織の拡充発展について期待しています。

婦人(女性)防火クラブは、前年に比べクラブ数は、274団体（1.87%）減少し、クラブ員も、46,703人（2.05%）の減少となっていますが、クラブ数は14,351団体、クラブ員数2,227,179人で依然として自主防災組織の中では我が国有数の規模を維持しています。また、都道府県別に増減数のバラツキが見られ、増加した地域と減少した地域があり、これは、前年同様の傾向でした。

また、婦人(女性)防火クラブ員の活動の一環として、住宅用火災警報器等の設置に関する普及啓発活動が大いに期待されています。戸建て住宅等、とくに4千万戸とも云われる既存住宅、なかでも独居老人宅はその10%程度を占め、火災による犠牲者を無くすためには、住宅用火災警報器設置の必要性を理解してもらうことが大切です。

#### ■ 幼年・少年・婦人防火クラブ員数10年の推移



## ■ 幼年消防・少年消防・婦人消防の過去10年間の推移

### 1) クラブ員数

	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
幼年消防	1,100,690	1,116,849	1,135,128	1,136,836	1,159,334	1,146,352	1,192,455	1,213,460	1,244,930	1,251,535
少年消防	535,600	536,810	523,784	519,219	501,511	487,309	479,532	470,860	470,605	457,348
婦人防火	2,497,559	2,489,466	2,438,755	2,458,884	2,462,103	2,435,760	2,337,364	2,304,747	2,273,882	2,227,179

### 2) 団体数

	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
幼年消防	12,882	13,186	13,531	13,638	13,697	13,631	14,384	14,480	14,704	14,624
少年消防	6,196	6,202	6,115	6,097	6,052	5,970	6,108	6,042	6,051	5,980
婦人防火	14,126	14,201	14,226	14,149	14,200	13,639	14,812	14,717	14,625	14,351
合計	33,204	33,589	33,872	33,884	33,949	33,240	35,304	35,239	35,380	34,955

(注)平成16年度は、総務省消防庁調べによる。

## ■ 平成16年度 民間防火組織の状況（都道府県別総括表） 平成16年5月1日現在

都道府県	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人（女性）防火クラブ	
	組織数	人員	組織数	人員	組織数	人員
北海道	605	48,193	243	7,076	554	60,854
青森県	352	20,032	76	3,822	201	6,561
岩手県	347	19,407	168	7,462	514	93,314
宮城県	411	31,342	138	11,006	1,993	295,547
秋田県	284	14,257	370	6,985	514	33,222
山形県	323	26,024	418	19,081	315	50,561

福島県	379	29,549	176	11,927	138	103,747
茨城県	411	31,630	151	9,360	218	31,262
栃木県	240	22,991	73	7,321	956	266,192
群馬県	309	27,889	152	32,595	156	181,923
埼玉県	284	37,528	61	3,175	161	17,791
千葉県	256	37,370	47	5,532	88	3,887
東京都	1,187	154,628	82	3,425	86	18,741
神奈川県	216	31,278	168	9,166	165	35,732
新潟県	473	34,471	59	2,066	160	8,090
富山県	360	20,579	222	25,718	174	42,788
石川県	236	18,461	189	7,915	290	11,493
福井県	227	14,572	188	10,392	213	17,348
山梨県	152	13,341	19	2,299	28	2,123
長野県	281	25,348	27	1,247	322	20,099
岐阜県	447	43,189	265	44,249	340	96,987
静岡県	361	37,495	100	2,193	77	6,268
愛知県	404	51,614	945	144,221	591	65,944
三重県	115	11,961	37	1,222	72	5,819
滋賀県	121	10,984	9	292	821	24,829
京都府	121	11,425	18	597	152	5,381
大阪府	197	37,918	14	455	143	92,742
兵庫県	333	25,206	135	6,556	311	58,091
奈良県	149	7,165	8	364	73	2,839
和歌山県	229	20,787	24	963	428	22,077
鳥取県	148	11,851	115	2,320	188	4,026
島根県	279	16,043	84	5,330	481	22,305
岡山県	290	17,624	259	10,256	429	41,619
広島県	248	22,094	57	2,303	51	5,780
山口県	158	10,236	89	3,011	88	13,174
徳島県	157	12,410	52	5,179	253	13,085
香川県	50	3,868	42	2,040	155	33,576
愛媛県	376	32,777	137	3,924	147	98,630
高知県	218	16,651	14	423	118	5,419
福岡県	737	66,758	72	2,142	101	61,111
佐賀県	202	15,843	37	1,344	206	16,198
長崎県	585	40,608	147	5,732	934	116,380
熊本県	531	18,569	142	4,577	531	88,673
大分県	200	13,567	47	7,306	71	5,660
宮崎県	237	12,948	50	11,405	166	3,806
鹿児島県	202	10,469	52	1,262	137	9,668
沖縄県	196	12,585	2	112	41	5,817
合計	14,624	1,251,535	5,980	457,348	14,351	2,227,179